

筑波大学比較・理論文学会 平成21年度活動報告

(以下のデータは2010年2月1日現在のもの、また本誌刊行日程の都合により平成20年度3月例会の記載を含む)

◎平成20年度3月例会

2009年3月23日 於：筑波大学人文社会学系棟B519

・金学淳（総合文学4年次）

馬琴の遍歴小説

——風刺・教訓を語るための見世物としての異国

・姚紅（総合文学3年次）

上海の虚構と現実

——芥川龍之介「アグニの神」をめぐって

◎博士学位請求論文公开发表会

2009年7月18日 於：筑波大学総合研究棟A110

・梁智英（総合文学5年次）

一九二〇年代の柳宗悦と朝鮮

——朝鮮知識人の主体形成とメディアとの関係

・松田幸子（東京理科大学非常勤講師）（論文博士）

初期近代イングランドにおけるオペラの受容と変容

◎博士学位請求論文構想発表会

2010年1月7日 於：筑波大学人文社会学系棟B519

・杉本章吾（総合文学5年次）

〈少女マンガ〉の脱構築

——岡崎京子にみる現代日本女性表象研究

・加賀谷真澄（総合文学5年次）

国民国家形成期における貧民表象

——横山源之助作品にみるマイノリティ像

◎修士論文公開発表会

2010年1月21日 於：筑波大学人文社会学系棟B519

・周賢熙（総合文学2年次）

安部公房初期短編作品にみる諸科学との交差

同氏の修士論文構想発表会は2009年6月18日に開催、また修士論文中間発表会は2009年10月22日に開催

◎博士学位請求論文公開発表会

2010年1月23日 於：筑波大学人文社会学系棟B519

・黄益九（総合文学5年次）

戦場の〈記憶〉・〈記憶〉の戦場

——戦後占領期における「文化的記憶」の形成

同氏の博士論文構想発表会は2009年6月25日に開催、また博士論文中間発表会は2009年10月29日に開催

※平成21年度例会は2010年2月24日に開催予定